

【テーマ】

Q 全4516首ある万葉集の中で第1番目の作品は何ですか？
凶暴な天皇が村の女性に声をかける歌だった



公民館だより

2018年6月1日(金)

番外・紙面編 / 第1号

奈良市 二名公民館

館長 上田善紀・発行

A 第21代天皇、雄略天皇の歌です。5世紀後半に在位したということですから、古代といわれる大和朝廷の隆盛期ですね。古墳時代の仁徳天皇からおよそ150年の後、律令政治の始まりである大化の改新（646年）までおよそ200年ほどの時間のへだたりがあった時代のことです。都は泊瀬朝倉宮にありました。今の桜井市朝倉ですね。

「雄略天皇」とは、生前に用いられた天皇名ではありません。そもそも、「天皇」という称号は大宝律令（701年）あたりから使用されたといわれています。この頃は「大王」。「雄略天皇」の実名（諱）は「大泊瀬幼武天皇」。ちよつとカッコいい名前でしょう。しかし、なかなかどうして、たいそう凶暴な人物であったといわれています。日本書紀にも、何と「大悪天皇」と称されていました。なにせ、兄や従兄弟たちを殺して即位した天皇だったのですから…。古代天皇の専制的、英雄的性格の頂点に立ち、大和政権の実権を握っていた天皇でした。



籠もよみ籠持ち ふくしもよみぶくし持ち この岡に菜摘ます児家聞かな
名告らさね そらみつ 大和の国はおしなべて 我こそ居れしきなべて 我こそ
いませ 我こそば 告らめ 家をも名をも

雄略天皇 卷一一一

㊦ 籠も、よい籠を持ち、ふくし（掘串）も、よいふくしを持って、この岡で若菜を摘んでいる娘さん。家がどこかいいなさい。名前をいいいなさいな。この広い大和の国は、ことごとくすみずみまで私が治めているのだが、この私にこそは教えてくれるでしょうね。あなたの家も名前も。



【解説】… ええつく、と思つてしまいますよね。先ほどの解説では、凶暴な人物像を書いています。なんと牧歌的な歌なのでしょう。

「籠」とは「かご」のこと。「ふくし」とは、若菜を摘むための「ヘラ」のことです。「籠を持つているでしょう。まあまあ、何とていいお籠でしょう。またヘラも、まあまあ何とよいヘラでしょう。この泊瀬の丘で若菜を摘んでいるあなた。お名前はなに？どこに住んでいるの？」

ある春の日、丘で草を摘んでいる娘たち。そこへ通りかかった堂々たる体躯で立派な身なりの大王が娘たちの中の一人を見初めて呼びかけているのです。古代において、女性が自らの名前や家を明かすことは結婚を承諾する行為とみなされていました。男性が女性に声をかける、女性は自分の名前や家の場所を教える―古代から奈良時代における求婚のあり方だったんですね。つまり、雄略天皇が草摘みをしている娘の一人に対して求婚プロポーズしている歌なんです。そして、後半では、天皇自らが名前を明かします。

「私から名乗りましょう。私こそがこの国を治めている天皇なんですよ。」女性の持ち物をほめてから求婚しているなんて、なかなかのテクニクじゃありませんか。

古代の人々は、言葉には霊力が宿ると考えていました。「豊作だ」と言葉を発すると言葉のもつ霊力が現実を引き寄せて、めでたく実際に豊作になってくれると信じたのです。それとともに、名前にも霊魂が宿っていると考えられていました。だから「名乗り」は重要なことで、男が女に名前を尋ねるのは求愛、求婚を意味し、女が名前を明かすことはそれを承諾することになるわけです。

ちょっとためになる!!! 知識①

■天皇の名前について

「雄略天皇」は、生前に用いられた天皇名ではないと先に書きました。

「大泊瀬幼武天皇」と称したのでしたね。

有名な天皇で、例えば「天智天皇」の実名（諱）は「葛城皇子」といいます。

また別に「中大兄皇子」とも呼ばれていました。「大兄」とは同じ母親の兄弟の中の長男に与えられた皇位継承資格をもつ称号で、「中大兄」は「2番目の大兄」を意味します。正しくは「中大兄」だけでもいいわけです。

諱とは別に、天皇の崩御後、その人の高貴さや高徳を表した美称として、死後に送る名前「諱号」（おくりな）があります。日本流の名付け（＝和風諱号）と中国流の名付け（＝漢風諱号）の2種類があります。「天智天皇」という名は漢風諱号です。和風諱号では「天命 開 別 尊」といいます。

「持統天皇」（漢風諱号）の諱は「鸕野讚良皇女」、和風諱号は「高天原広野姫 天皇」です。ちなみに天皇は（テンノウ）ではなく（スメラミコト）と読みます。

では、だれが命名したのでしょうか。淡海三船という名前を歴史の授業で教わったことはありませんか。奈良時代後期の貴族で、大友皇子の曾孫です。奈良時代屈指の文人で、中国の文献や漢詩にもたいへん造詣が深い人物でした。漢風諱号は、淡海三船が天皇に進言をしていたということです。

ちなみに、「昭和天皇」の諱は「裕仁」。今の天皇は「明仁」。

あっ、それから「今上天皇」というのは、「今の天皇」というような、いわゆる普通名詞であって固有の名詞ではありません。